



申し上げます。 入梅の候、皆様におかれましては、益々ご清祥のこととお慶び

を通して多くの歌が詠まれた富山県としては、縁のある元号に親 ました。新元号に選ばれた「令和」は、日本に現存する最古の和 富山県高志の国文学館の館長で、国文学者の中西進氏だと報じら しみを感じている方も多いと思います。また「令和」の考案者が、 歌集である万葉集からの出典であり、越中国守であった大伴家持 「令和」という新たな時代を迎え、早くもひと月余りが経過

を考えたとき、心の豊かさに行きつくのは、自然なことなのかも れたことも非常に興味深いところです。 溢れた現代日本において、より豊かな社会とはどのようなものか 化が生まれ育つ」という意味が込められているとのこと。モノに この新元号「令和」には、「人々が美しく心を寄せ合う中で文

ことで、より良い富山県に近付くものと思っています。 すが、ひとりひとりが心を寄せ合い、思いやりの輪を広げていく 人口減少と少子高齢化という大きな課題を抱える中ではありま

しれません。

また人口減少や少子化対策、男女共同参画等々を所管する委員会 て、3期目の任期がスタートしました。今任期中、前半2年間は、 経営企画常任委員会の委員長を拝命しました。総合計画や財政、 さて、新時代の幕開けとともに、私も皆様のおかげを持ちまし

寧な活動を心掛けていく所存です。 議員生活も9年目を迎えましたが、 末筆ながら、時節柄、ご自愛ください。 初心を忘れることなく、丁

與野 冰子

## 平成31年3月7日 予算特別委員会(一 部抜粋)

# 障がいのある方への支援について

と8.7%増加している。 第17%増加している児童生徒は2,075人で、また通級指導を受けている児童生徒は1,583人で、5年前に比べ、援学校に在籍(5年前と比べ3%増)。小中学校の特援学校に在籍(5年前と比べ3%増)。小中学校の特援学校に在籍(5年前と比べ3%増)。小中学校の特別な支援を必要とする子どもたちの増加が指摘さいませ 2、075人で、5年前と比べる。 小中学校の特別支援学級に在。 小中学校の特別支援学級に在1、268人の児童生徒が特別支 増加が指摘されている

# Q トを作成中である。いつからどのような形で活用する予定なのか、問う。子どもたちの多様な教育ニーズを把握するため、県教委ではチェックリス

えている。

3月末までに作成し、4月に県内全ての保育所、幼稚園、幼保連携型 3月末までに作成し、4月に関内全ての保育所、幼稚園、幼保連携型 3月末までに作成し、4月に関内全ての保育所、幼稚園、幼保連携型 3月末までに作成し、4月に関内全ての保育所、幼稚園、3月に関いるが、1月に関いるのは、1月に関いのは、1月に関いのは、1月に関いるのは、1月に関いるのは、1月に関いのは、1月に関いのは、1月に関いのは、1月に関いるのは、1月に関いのは、1月に同いのは、1月に関いのは、1月に同いのは、1月に関いのは、1月に同いのは、1月に関いのは、1月に同いのは、1月に同いのは、1月に同いのは、1月に れ用校 で

し、適切な支援につなげたいと考活の中で教師が気になる子どもの、就学時健診時に子どもの行動を

Q **障がいのレッテル貼りにならないよう、注意する必要がある。の主観に頼らないよう客観性を持たせる必要がある。また、発すェックリストは良いツールだと認識しているが、活用する教な事前研修が必要と考えるが、どのように取り組むのか、問う。ニーズ把握のためのチェックリストの活用にあたり、教員の十** 分

チェックリストの活用にあたっては、教 の特別支援学校の特別支援教育コーデ をらに、各学校からの要請に応じて、小 でらに、各学校からの要請に応じて、小 でらに、各学校からの要請に応じて、小 でらに、各学校からの要請に応じて、小 でらに、各学校からの要請に応じて、小 でらに、各学校からの要請に応じて、小 でらに、各学校からの要請に応じて、小 でらに、各学校からの要請に応じて、小 でらに、各学校からの要請に応じて、小 でらに、各学校からの要請に応じて、小 できた、チェックリストの活用にあたっての留 を訪問し、助言していく。 いか中高校等のたっての知れっては、独 留教 意員を 点などをよるしいのと

校等 0 管 理 職 が 集

大って

ーディネーターが学ー会議で説明する。 きいことから、 十分 小特

> 考えているのか、問う。いくべきと考えるが、教員養成とその配置特別支援学校教諭免許状保有者の小中学校 してついて、ジスへの配置をは ど拡 一次させて

Q

7人、30年度は12月末時点で76人となっている。 17人、30年度は12月末時点で432人となっている。 高等学校では、平成29年度は12月末時点で432人となっている。 本県教員の特別支援学校教諭免許状の新規取得者数は、平成30年度地域の小中学校に拡大させていく必要があると考える。 地域の小中学校に拡大させていく必要があると考える。 近年、地域の小中学校において、特別な支援を必要とする子どもの近年、地域の小中学校において、特別な支援を必要とする子どもの近年、地域の小中学校において、特別な支援を必要とする子どもの

が、これまで以上に求められるの特別支援教育に関する専門と数が大きく増加していることを数と通級による指導を受ける中学校の特別支援学級に がの数徒 関する専門性をていることから 1項を受けている 文援学級に在籍。 る。 から、 高 るす 見めること 教員全体 りる児童生徒

別な支援を必要とする子ども達への支援する普通教室の学級担任に配置しておりてネーター、支援を必要とする子どもが、水を取得した小中学校の教員は、特別支援コースを取得した小中学校の教員は、特別支援がを取得した小中学校の教員は、特別支援がを取得した小中学校の教員は、特別支援が、 別な支援な状を取得ながある普通が しており、 の支援 が在に を



Q 置が平 成 の評価に 通級指導の受講状況と生徒が受講した理由を踏まえ、30年度に本県でも初めて、高等学校における通級を設 つい 通 置 級

てもらうことにしている。

### PICK UP

が高 `本 局校に進学している。自閉症や情緒障がい本県でも全国と同様に などにより特別支援学級に在籍、中学校で通級指導教室を利用 Ü うて た生徒徒

Ψ 成 30 (年度から新たに定時 制 高校4 一校に 通級を設置

### 知

|時間、自立活動の指導を受け、欠席すな者に受講を薦め、同意を得た子ども達な者に受講を薦め、同意を得た子ども達は16名の生徒が通級指導を受けているが、 るでン、生あがい

戸が寄せられておめるようになったンヨンが取れるよ

Q れている。ケーション等の支援は学力レベルとは関係なくニーズがあるとさ縏がらないよう慎重にならざるを得ないが、特に円滑なコミュニミ学校での通級設置及びその受講については、レッテル貼りに高等学校での通級設置及び 高等学校における今後 の通級設置の見通しについ ל 問

### Α

単位制な抵抗性の 側を導入してい 生徒が自分の関 は抗感にも配索 ている定時制高校の興味、関心等に配慮することとさ

生徒の自尊感情や心理的生徒の自尊感情や心理的を検証している。引き続きを検証している。引き続きを検証している。引き続きと通級指導員による研究協と通級指導員による研究協とが表するとの自尊感情や心理的 立活動の幅を広げていきたいている。引き続き、検証を行導員による研究協議会を実施現状を把握するとともに、通員会では、今年度、学校訪問 いた行施通問 いと考えている。
そ施しながら、その効果を施しながら、その効果の担当教頭があれる。



Q ラムを充実すべきと考えるが、農業分高等特別支援学校では、卒業 農業分野の就労にもつながるようカリキュ、卒業後の一般就労を目指してカリキュ 所見を問う。

### Α

### Q への支援をどのように行っているの特別支援学校を希望していながら、 か、 入学することができな

### - CK UP

軟本が 情の援 に県い本緒5学学 対独の県障つ校校 応自なの害のは教 すにい高だ障、育 けが視法をい覚の 種障規 別が定 をいに 有する児童により、高質 量が特に別 走、別 の知支 支的援 援障学 坂を行うこととされ 呼がい、肢体不自卑 学校をはじめとする れ由るて、特 お病別 り弱支

に対応すべきと考える。 県独自に、制度の隙間にいる精いのない自閉症スペクトラムで本県の高等特別支援学校は軽度 特でを対している。 が学障い希が、望い (情緒障がい)につ望があるのが実態でいが対象であるが、 つで、いあ知 

### 教

本県の高等特別支援学校は、軽度知で支援に努めたい。 で、情報を対して、情報を 緒つが 障いい がてを いは有 に、す 対すると 配知の 慮的支 を障援 しがを ない行 がにつ

りつい 引ては 続30 き年 、 度 こか こう、 た取り高 組校 みで の通 中級

Q に年工 **|障害者就労施設等への発注を増やすべきと考えるが、所見を問う。||度の実績金額は全国でワーストという実態を踏まえ、本県でも積極||賃向上の||端として、平成25年度から優先調達を行っているが、平成** 的29

### P-CK UP

ず、取り組みの差が浮き彫りとなっており、でいる全国の優先調達額一覧を見ると、数本県では平成9年度、835万円で全国 覧を見ると、都道 最下位。 1億円を超える県もある。道府県の予算規模に関わない。厚生労働省が発表-

### 知

県では、障害者就労施設等からの物品等の調達方針を策定するほかの補助を新年度予算案に計上している。全国最下位は残念であり、障害者施設からの優先調達の更なる推進の補助を新年度予算案に計上している。全国と比較すると物足りないは、イベントにおける記念品等での活用をはじめ、物品の早としては、イベントにおける記念品等での活用をはじめ、物品のや印刷物の作成の際には、事業者自身の高い経営意識に基づく付加価値のる増加に当たっては、事業者自身の高い経営意識に基づく付加価値のる増加に当たっては、事業者自身の高い経営意識に基づく付加価値のる増加に当たっては、事業者自身の高い経営意識に基づく付加価値のる増加に当たっては、事業者自身の高い経営意識に基づく付加価値のる増加に当たっては、事業者自身の高い経営意識に基づく付加価値のの補助を新年度予算案に計上している。全国と比較すると物足りなの情報が、適品のブラッシュアップ等に必要な備品等のが出りないというないと思っている。全国と比較すると物足りないる。 国と比較すると物足りないたが、調達額は438万円にが、調達額は438万円に大変は平成25年度の211にデザイトによる物品等のにですが、 品者值額品 購のののの 入取高更購 い円1の `か件紹① へ組いな入

# 暴力被害ワンストップ支援センターとやまについて

## Q 開設から1年の実績とその評価について、

# 知 警察電

も害相じたれも ケつ害 のセ へ相 の者談でだる打性しいのこ状リまの談こ との者いけがち犯スて届の紀ンた同との 考心のるた、明まな、当れ、明に変更は8年 と考えている。で考えている。また、医育のニーズに即即の負担に即にいる。また、医療が、まずは、被が、まずは、勇

至った

む今下現 う医よ医 のくは 拡配富 大置山 にさ市 つれ内 いるの てのみ ど望聞 のまい ように取られているが、 りえ、組る県

Q

と、現在、調整を進めている。と、現在、調整を進めている。と、現在、調整を進めている。は、受講者の中から協力いただいは、受講者の中から協力いただいは、受講者の中から協力いただいは、受講者の中から協力いただいは、受講者の中から協力いただいは、受講者の中から協力いただいは、受講者の中から協力いただいは、受講者の中から協力いただいは、受講者の中から協力いただいは、受講者の中から協力いただいと表表で、と、現在、調整を進めている。と、現在、調整を進めている。と、現在、調整を進めている。と、現在、調整を進めている。 心できるとなれるようになれるように ただい器等のおり、る。 産 婦 なよう、いたはなく、 人科 医方 整めい 医

協てな

3

名

※正式な議事録ではございません

形のた

外研だ

師を

今年は亥年。選挙イヤーであることは、第知のことと思います。統一地方選と参承知のことと思います。統一地方選と参承知のことと思います。統一地方選と参承知のことと思います。
「亥年選挙」とも呼ばれています。
「亥年選挙」とも呼ばれています。
「亥年選挙」とも呼ばれています。
「亥年選挙」とも呼ばれています。
「亥年選挙」とも呼ばれています。
中でも定数11人に対して7日に執行された県議会議員ではならなかったも定数11人に対して7日に対して7月日に対して7月日に対した。
「亥年選挙を展開しました。残念ならなかったものの、過去最多の9人擁立し、参院選を出ています。
「ではならなかったものの、過去最多の8人の投票率においては、他の選挙では、自民党公認がたったのに対し、参院選をでは、11年では、11 や意識啓発に一人としても、女 す。層性控 力を入るを画した。 ず。 あること と もること れし民 てや党 いすと と党前候人選の選党 分勢回補のと選の公 得42で補なし、 か参は 回全員 くいし 必環で り体選

2月議会一般質問の詳しい様子は、富山県議会のホ ームページでご覧いただけます。

htpp://www.pref.toyama.jp/sections/0100/

6月議会では、6月25日(火)11:00~ 予算特別委員会にて質問いたします。 ケーブルテレビ、インターネットで視聴いただけます。

相カ

談ウ

たに被

ホームページ http://www.okunoeiko.jp/ ぜひご覧ください。

Facebook 友達リクエストの際にはメッセージを一緒に送って頂くようお願いします。

Twitter 本人アカウント 奥野詠子(@Eiko\_Okuno) 後援会アカウント 奥野詠子県議 後援会 詠桜会(@eiokai)

### 連

### 富山県議会自民党控室

### 議 務 所

富山市新総曲輪1-7 〒939-8073 富 〒930-8501 山市 大 町 2 TEL 076(431)5244 FAX 076(441)8421 TEL 076(420)3530 FAX 076(420)3536 E-mail:okuno.eiko@lime.plala.or.jp